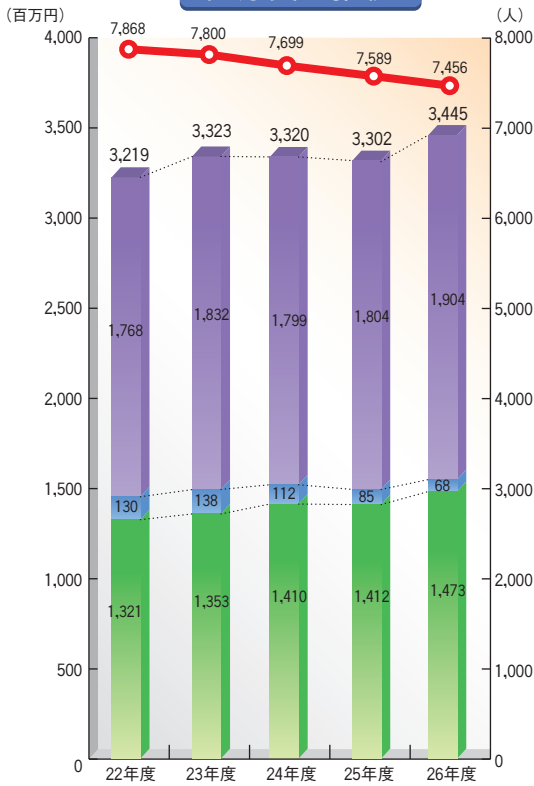


芳賀町

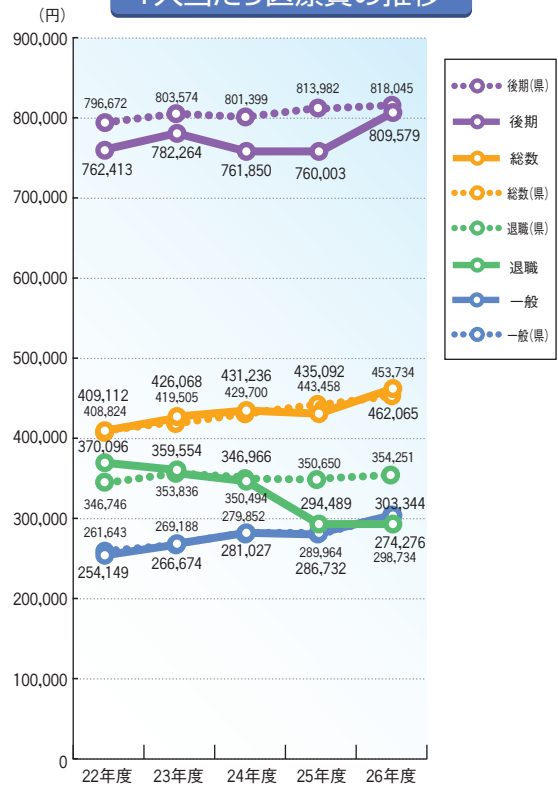
芳賀町



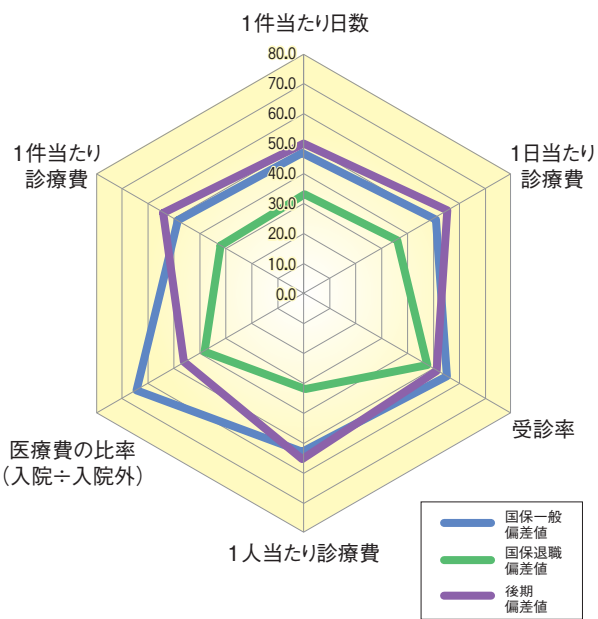
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

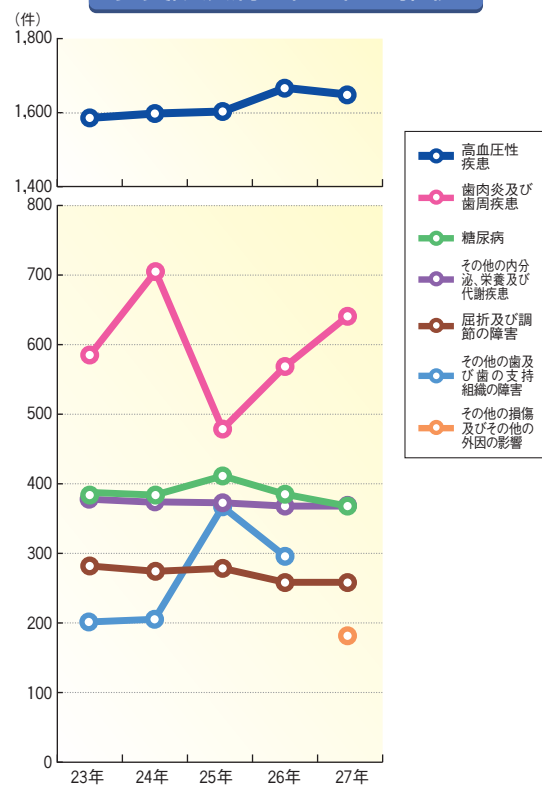


平成26年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

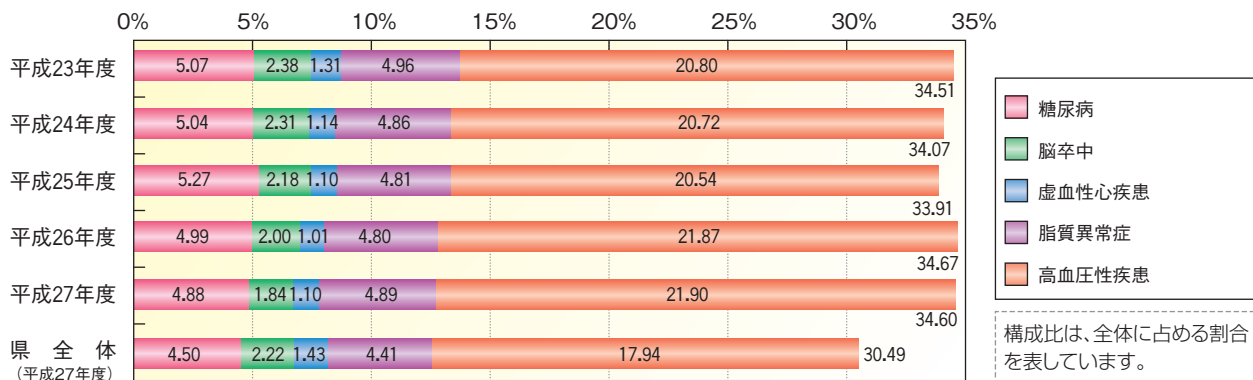


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

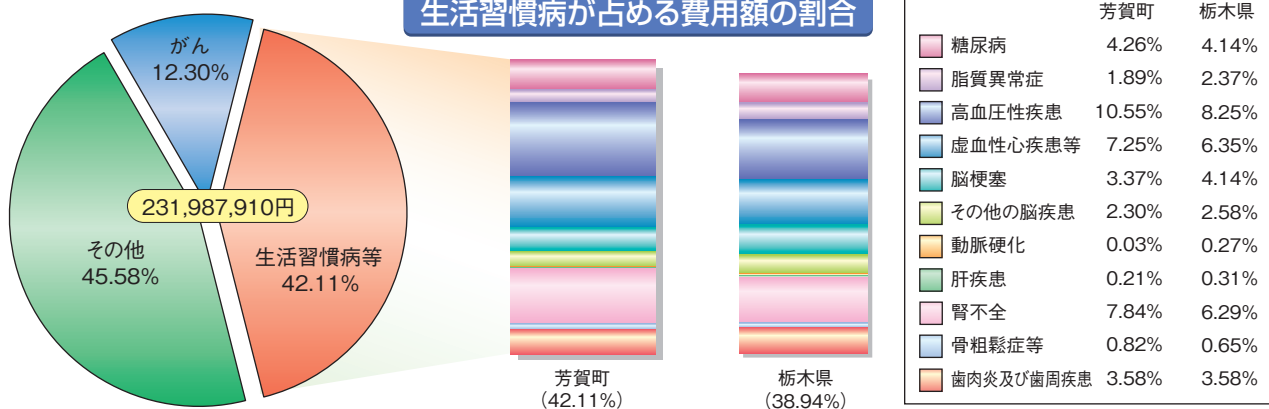
多受診疾病上位6位の推移



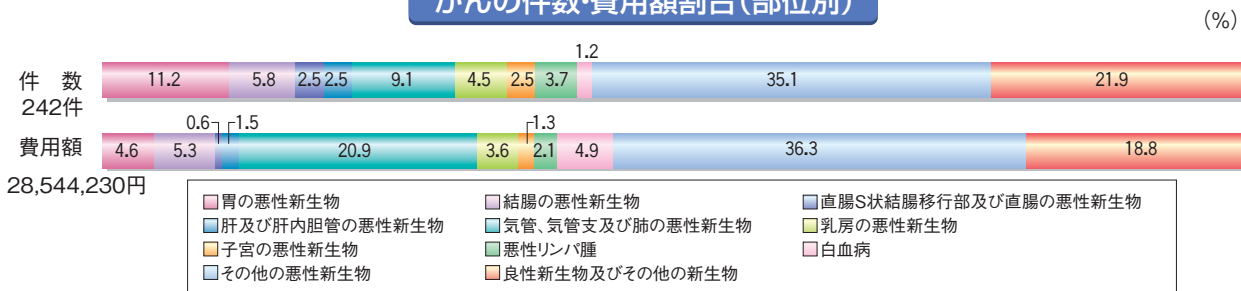
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



芳賀町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,473,342千円(104.3%)、退職67,746千円(79.3%)、後期1,903,995千円(105.5%)で、全体では3,445,083千円(104.3%)と増加している。()は前年度との比較。
 平成26年度平均被保険者数は7,456人で、内訳は一般4,857人、退職247人、後期2,352人である。前年度比較すると全体で98.2%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は462,065円(26,973円増)、一般は303,344円(16,612円増)、退職は274,276円(20,213円減)、後期は809,579円(49,576円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、1件当たりの日数及び1件当たりの診療費以外は県平均を上回り、退職は全ての項目において低い偏差値となっており、後期は、医療費の比率以外の項目において高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成27年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の損傷及びその他の外因の影響で、1位から5位までの5疾病は、近年ほぼ横ばいで特に大きな変動は見受けられない。6位のその他の損傷及びその他の外因の影響は、平成25年度以降急激に増加しており、平成23年と比べ、件数は1.42倍、費用額は1.79倍となっている。

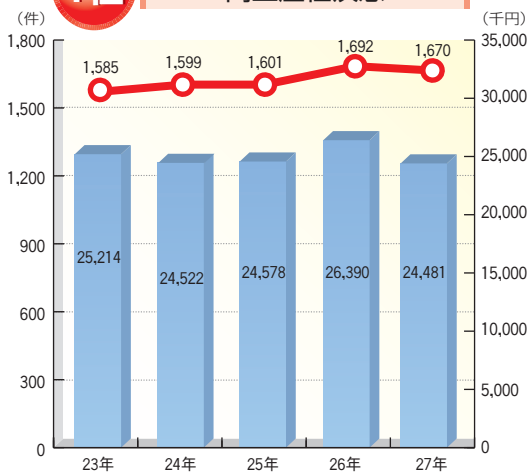
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比はかなり高く、中でも高血圧性疾患は高い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が231,987,910円で、がんが12.30%、生活習慣病関連が42.11%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.55%、腎不全7.84%、虚血性心疾患等7.25%、となっている。

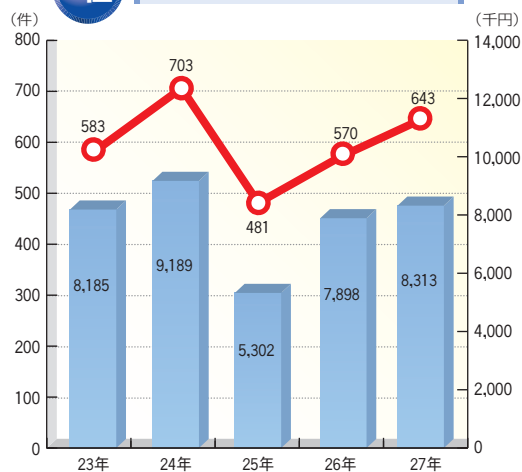
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数は胃の悪性新生物が高い割合となっている。費用額は気管・気管支及び胃の悪性新生物の割合が高くなっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

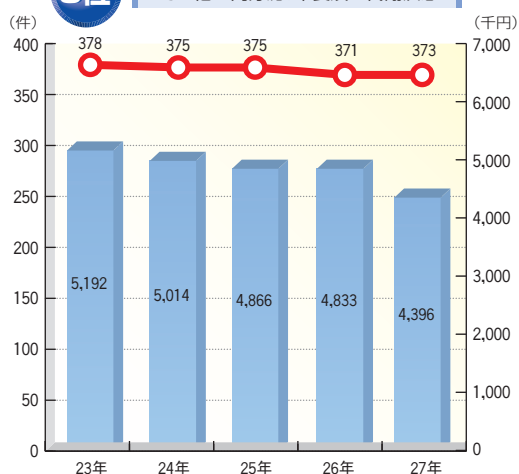
1位 高血圧性疾患



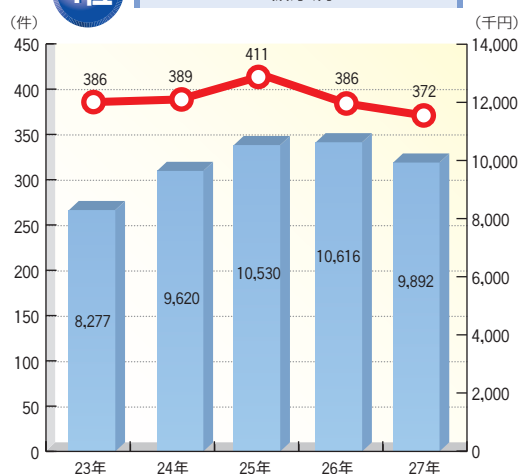
2位 歯肉炎及び歯周疾患



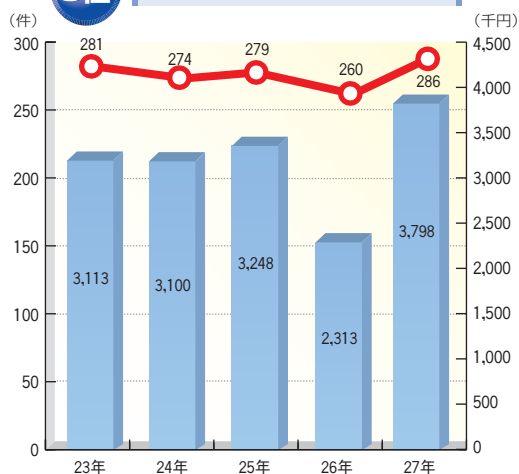
3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



4位 糖尿病



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の損傷及びその他の外因の影響

